

あーかす

米子医療センターマガジン#49
July 2025 (令和7年7月号)

健診のススメ

臨床工学技士のシゴト

米子医療センター活動報告

地域包括医療病棟の紹介

核医学診断装置が新しくなりました

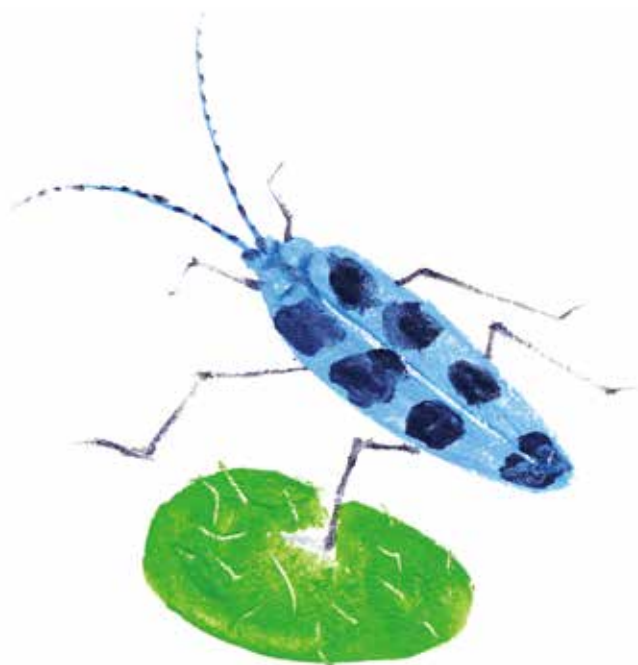
看護の日の行事を開催しました

認知症看護認定看護師に認定されました

とりりんりんが使えます!

栄養管理室の掲示板

Enjoy!学生LIFE



■ contents ■

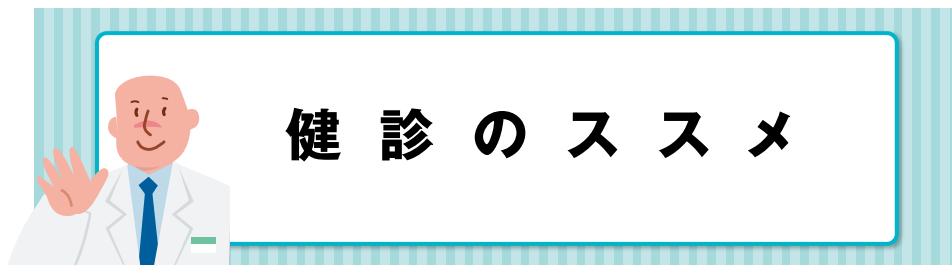
- 03 健診のススメ
- 04 臨床工学技士のシゴト
- 06 米子医療センター活動報告
- 08 地域包括医療病棟の紹介
- 09 核医学診断装置が新しくなりました
- 10 看護の日の行事を開催しました
- 11 認知症看護認定看護師に認定されました
- 12 とりりんりんが使えます!
- 13 Topics File～栄養管理室の掲示板
- 14 Enjoy! 学生 LIFE



患者さまと職員が向き合った姿で、患者さま中心の医療提供とYONAGO(米子)の「Y」、MEDICAL(医療)の「M」、CENTER(センター)の「C」の文字を、まごころ、信頼、安心、良質の医療をイメージする「ハート」に組み合わせ「米子医療センター」の明るく元気な姿を表しています。

あーかす

あーかす(Arcus)とはラテン語で「虹」を意味し、英語のArc(弓、橋)+Us(私たち)で「私たちが地域の架け橋になる」という意志を込めてタイトルとしました。私たちの持ついろいろな表情を、地域の方々や医療関係者に広く知って頂き、絆を更に深める情報を掲載してまいります。



健診のススメ



健診センター長 福木 昌治

なぜ健診を受けるの？

「人間ドックを受けておいてよかった」、「もっと早く健診を受けていればよかった」、こんな声をよく耳にします。誰も病気にはかかりたくありません。発病ないように日頃の生活習慣をよくしておくことが何より重要であることは間違いありませんが、それでも病気は襲いかかってきます。それを最小限の被害で食い止めるには、早期に発見すること、あるいはより悪い病態になる前に改善することが大切になってきます。

健診？検診？人間ドック？

そのために設定されているのが、健診や人間ドックということになります。健診は会社などに勤務されている方には義務づけられています。それ以外の方には市や町などの自治体が主催する住民健診などもあります。健診は主に糖尿病、高血圧、脂質異常症などを見つけることが目的となっています。同じ音ですが検診ということもあり、これは特定のがんの発見に特化した検査になります。いずれの検査項目も網羅して多くの検査を広く行うのが人間ドックになります。特定の疾患や臓器にこだわった人間ドックもあり、肝胆膵ドックや脳ドックなどが設定されている医療機関もあります。

「受けていて助かった」と安心できる

健診、人間ドックは、より重度の疾患の発症の基盤となる慢性疾患、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの発見や、早期発見・早期治療が期待されるがん、悪性腫瘍の発見を目指して設定されています。糖尿病、高血圧、脂質異常症などは、脳卒中、心臓病、腎臓病などの発症の基盤となることが多く、糖尿病、高血圧、脂質異常症自体の治療は困難なものの、コントロールすることによって脳卒中、心臓病、腎臓病などの発症の抑制が期待できます。また悪性腫瘍についてはやはり早期発見に勝るものはなく、それにより完治も期待できます。様々な疾患を発症して受診される方々の中で健診、人間ドックを受けていて助かったと言われる方は少なくありません。健診、人間ドックを受けることは無駄に終わることはあるかもしれませんが、残念ながら病気を発見できないこともあるかもしれませんが、今までの人知を集めて設計された健診、人間ドックのシステムは多くの人々を救ってきたのであり、勧められるべき医療と考えます。ただ、健診、人間ドックは無症状の方に行うことが前提となっています。これらの検査でも見つからない、あるいは発症を予測できない病気も多くあります。もし特定の症状があればそれに見合った検査などがありますので、通常の診療を受けてください。



お電話での事前予約・相談について

下記にお電話いただき、「健康診断希望」又は「人間ドック希望」とお伝えください。なお、予約は 先着順のためご希望の日に予約がとれないこともございます。ご了承ください。

代表電話／TEL:0859-33-7111

受付時間／平日13:00~17:00

臨床工学技士のシゴト

皆さんの中には、臨床工学技士という職業を聞いたことがない方もおられるかもしれません。実際、仕事について聞かれて「臨床工学技士です」と答えても大半の方が知らず、業務内容を説明してもあまりピンと来てもらえません。最近では、たまに臨床工学技士が医療ドラマに登場することもあります。が、まだまだ認知度は低いように感じます。

臨床工学技士とは、医学と工学両面を兼ね備えた国家資格で、病院内で医師・看護師や各種医療技術者とチームを組んで生命維持装置の操作などを担当しています。また、医療機器がいつでも安心して使用できるように保守・点検を行っており、安全性確保と有効性維持に貢献しています。

当院での代表的業務としては、**血液浄化業務・呼吸治療業務・心血管カテーテル業務・ペースメーカー業務・手術室業務・医療機器管理業務**などがあり、当院では3名で協力しながら業務を行っています。

今回臨床工学技士の仕事について知ってもらうため、私たちが普段行っている業務について詳しく紹介したいと思います。



臨床工学技士
大東 加奈

血液浄化

透析・けっしょう血漿交換

腎機能の低下した患者さんに透析をする際の機器の操作や終了時の抜針・止血などを行っています。また、透析装置の使用前・使用中・使用後点検や、定期点検や機器の修理、透析に使用する透析液の水質管理なども行っています。たまに穿刺を行う事もあります。

また病棟で、血圧低下などで透析が困難な患者さんへ緩徐に行う透析や、多臓器不全になってしまった患者さんへの血漿交換療法、腹水ろ過濃縮などを行う際の機器の操作も行っています。



呼吸治療

人工呼吸器点検・操作

肺の機能が働かなくなり十分な呼吸ができない患者さんに、呼吸の代行をする人工呼吸器が装着された際、患者さんの元へ行き、安全に装置が使用されているか、設定どおり稼働しているか、装置に異常が無いか確認を行います。



心血管 カテーテル 機械操作

心臓病の診断をするための心臓カテーテル検査の際、一連の記録をするためのコンピューターの操作や、検査中に使用する機器の操作を行います。また、治療の際に血管内を確認する機器や狭くなった部位の血流を測定する機械の操作や心臓の機能を補助する機械の操作を行う事もあります。



医療機器管理

保守点検・部品交換

院内で使用される、輸液・シリンジポンプや人工呼吸器、除細動器などの医療機器の使用前・使用後の点検や、これらの機器が安全に使用できるよう、また機器の性能が維持できるように定期的な保守点検や部品交換を行っています。



ペースメーカー プログラマー操作

不整脈に苦しむ患者さんにペースメーカーという機器を体に植込むことがあります。そういった患者さんのペースメーカーの作動状況を把握したり設定を変更したりする機械（プログラマー）の操作を行います。また、ペースメーカーが入っている患者さんのMRI撮像や、電気メスを使用する場面での設定変更や立ち合いを行います。一時的にペースメーカーが必要になった患者さんの体外式ペースメーカーの操作を行う事もあります。

手術室 手術機器点検・操作

手術室にある電気メスや麻酔器など様々な医療機器のメンテナンスの他、当院では外科の腹腔鏡手術、泌尿器科のレーザー手術、循環器内科のペースメーカー植込み手術に入っています。

外科や泌尿器科の手術では、手術で使用する機器の使用前点検や、術中の操作などを行っています。また、使用後には術中に使用した機器や道具に不具合が無いか確認を行っています。

循環器内科の手術ではプログラマーを用いてチェックを行い、植込みを行う医師と連携をとって患者さんに適した植込み位置や、値の設定をしています。



文章を読んだだけではなかなかイメージが付きにくいと思いますが、このように私達は院内の様々な場所で医療機器の操作や、機器が安全に使用できるよう保守点検を行っています。今回私達の業務内容を知っていただき、安心して治療を受けていただければと思います。

米子医療センター活動報告

第38回市民公開講座を開催いたしました!!

糖尿病ってどんな病気?

～生活習慣を見直そう～

地域医療連携室

吉野 眞由美



2025年6月7日(土)に市民公開講座を開催いたしました。今回のテーマは昨年の市民公開講座のアンケートで要望の多かった「糖尿病」ということで当院の糖尿病・代謝内科医長の角啓佑先生、糖尿病看護認定看護師の遠藤朋子副看護師長が講演をいたしました。

初めに角先生から糖尿病の病態、3大合併症、治療(食事療法・運動療法・薬物療法)についてわかりやすくお話がありました。血糖値が上がってもほとんどの場合には無症状のため、「健診等で血糖値が少しでも高めと言われたら病院で検査しましょう!」と受診の必要性を説明されていました。糖尿病は、軽いうちから治療すると病気の進行を抑えることが期待でき、おそろしい3大合併症を防ぐためには軽いうちからの治療が必要です。治療は少しでも早めに始めることが大切です。

また、遠藤副看護師長からは「糖尿病を知って、健康生活を手に入れよう!食べて、動いて、健康に!」と心惹かれる見出しから始まり、糖尿病は治らないけれど、自分でコントロールできる病気であり、うまく「糖尿病」と付き合うための食事療法や運動療法についてお話がありました。糖尿病の治療は生活の見直しから始まります。

全体を通して参加者の方からは「わかりやすい説明でした。実践できる、実践しやすい運動療法や生活の一工夫があってよかった」「日頃の生活を見直す良い機会となりました。飲み物の角砂糖怖いですねえ～」などの感想が聞かれました。

この角砂糖のお話ですが角先生の講演の中に果物や飲み物、お菓子の中に入っている砂糖の量を角砂糖に例えたお話がありました。日頃よく手に取っている食べ物に含まれている砂糖の量に驚きでした。特に鳥取のスイカが大好きな私はスイカに含まれている砂糖の量に衝撃を受けました。角砂糖のピラミッドは気になるところですがこの夏も適量をおいしくいただこうと思います。

今回の講演ではわかりやすく今日から実践できる内容がたくさんあり、「とても参考になった」と大変好評でした。これからも地域の皆さんに身近に感じていただける「米子医療センター」として、皆さんのお役に立てる情報を講演会を通して発信してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。





新採用職員研修(看護部)

はじめまして！ 新人看護師です！

教育担当看護師長 倉鋪 志子



新人看護師がつける
赤い名札と黄色いストラップ

今年度、新たに採用された看護師たちが研修を終え、皆様の健康と安心を守るために準備を整えました。新採用看護師は最新の医療知識と技術を学び、「人と人とのつながりを大切にし、温かく、誠実な看護」を提供することを目指しています。

研修の一環として、自己紹介の時間が設けられ、参加者はBOXから質問を引いてお題にそって自分を紹介しました。参加者からは、「質問を引くのはドキドキした」「他の人との共通の話題が見つかり、緊張がほぐれました」といった感想が寄せられました。楽しく自己紹介を行い、新しい仲間との絆を深める機会となりました。医療現場の中で、職員間のコミュニケーションをさらに高めながら共に働く仲間づくりを行っていきたいと考えています。研修を通じて、新採用看護師たちは互いに助け合いながら成長し、チームワークの大切さを実感しています。新しい仲間との絆を深め、これからのチームワークに期待が高まります。地域の皆様に安心して医療を受けていただけるよう、全力でサポートいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

新人看護師は**赤い名札と黄色いストラップ**を付けています。病院全体で新人看護師を見守りつつ、育てていきたいと思っています。

ち ょ っ と ひ と い き

目の前の健康づくり

先日、あーかすの撮影で3Fから8Fまで階段をのぼりました。普段1Fから3Fくらいまで使っていたので、8Fまでチャレンジしてみようと思った次第です。最初はよかったのですが6Fあたりでかなりペースが落ち、足が重たく感じてきました。昔はスポーツもしていて体力には自信があっただけにちょっと残念に思ってしまう、自分に喝を入れようと考えています。これから暑い季節になりますが、できる限り階段を使って体力維持に努めたいと思います。職場に居ながらにして手軽にできる、ダイエットと思って……。



地域包括医療病棟の紹介

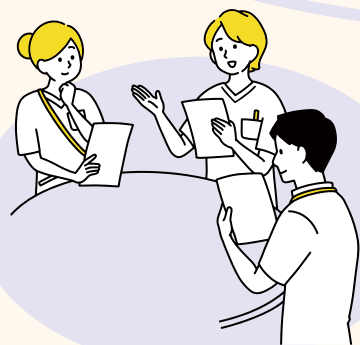
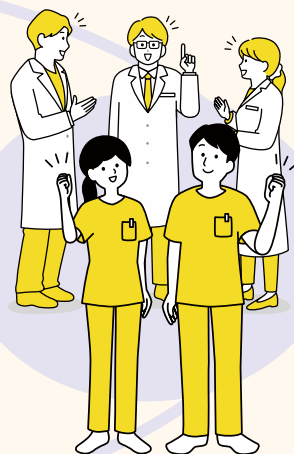
当院では、令和6年12月から7階病棟が地域包括医療病棟となりました。

地域包括医療病棟とは？

少子高齢化により今後さらに増加する可能性の高い高齢の救急患者さんの受け入れ対応など、ご高齢の方の医療需要増大を踏まえて新設されました。救急患者さんを受け入れる体制、リハビリテーション、栄養管理、入院および自宅等への退院支援などの機能を含む、医師や看護師、リハビリ療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多職種が協働して急性期医療の提供と早期の機能回復を支える病棟となります。



治療を受けている間に入院前のように体を動かすこと、食事をとること等が出来なくなることがあり、その結果在宅への復帰が遅くなるケースが多々あります。地域包括医療病棟では、患者さんの入院後早期よりリハビリテーションの導入や状態に応じて管理栄養士の介入が行われます。そして、医師や看護師、医療ソーシャルワーカーや退院支援看護師、理学療法士等の多職種で、入院時より退院やその後の生活について考え、患者さんやご家族が不安に思うことや困ることがないように支援を行っています。



理学療法士と看護師が連携を取り、患者さんの安全を守ることが出来るように転倒予防について等、時間を設けて話し合いを行っています。



リハビリの時間以外にも、食堂・デイルームに移動して素晴らしい大山を見てもらいながら気分転換を図る、食事をする等の時間を作り、患者さんの歩く・食事をする等の日常生活に必要な機能を保つことが出来るように、また、回復出来るようにしています。

詳しくは **当院ホームページ** をご参照ください。



核医学診断装置が新しくなりました

2025年3月に核医学診断装置を更新しました。従来使用していたキャノンメディカルシステムズ SymbiaEという装置は導入より10年以上経過していたため、新しくGE NM830という装置に更新を行いました。

新たに導入した装置では、コリメータによる感度の改善や検出器が移動する間も収集する機能等により、画質の向上および検査の短時間化を行っております。また、検査時間が短くなった分、必要に応じてSPECTと呼ばれる3次元撮影にも対応可能となりました。CTと核医学装置が一緒になっているSPECT/CTには精度が劣りますが、CTで撮影した画像との合成 (Fusion) も可能となっています。

装置が新しくなったことに伴い、対応可能な検査も増やしていく予定です。その一つとして心筋シンチ I123-BMIPPとTl201の2核種同時撮影という検査があります。当院ではTl201を用いた心臓の検査に、薬による負荷か運動による負荷を行っていました。その際に負荷後と3〜4時間後の2回撮影が必要でしたが、2核種を用いることで負荷をかけることや追加撮影を行うことなく心筋血流やリスクの評価、血行再建後の評価を行うことができます。今後は他の有用な検査にも対応できるようにしていきます。

核医学検査室では装置更新前より、DRLs2020に基づいた被ばくの低減を目指し核医学製剤の投与量の見直しを行い、低用量の製剤への対応を行っています。他にも、医師の働き方改革のためのタスクシフトも積極的に行っています。

今後ともより価値の高い画像を提供していけるように努力していきますので、米子医療センター放射線科をよろしくお願いいたします。



診療放射線技師
主任
森脇 明啓



◆ 看護の日の行事を開催しました ◆

5月12日はフローレンス・ナイチンゲールの生誕日。その生誕にちなんで、「看護の日」と制定されたのは1990年のことでした。2025年鳥取県看護協会のテーマは「看護の心をみんなの心に」として、5月11日～17日までを看護週間としています。

当院はポスター掲示と患者さんへのメッセージカードの配布を行いました。

ポスターは、各部署がやりたい看護や大切にしていること等の紹介をしました。自部署の特徴や写真などを組み込み、華やかなポスターとなりました。2階外来待合のホスピタルアートがある壁一面に掲示しました。患者さんが外来受診の合間に足を止めて閲覧されていたり、写真を撮られる姿を拝見しました。このポスターで入院前の患者さんが少しでも不安が軽減できたり、憂鬱な外来待ち時間にちょっと和む時間ができていたらとても嬉しく思います。

メッセージカードには、入院中の患者さん、腎センター・化学療法センターに通う患者さん、訪問看護先の患者さんへ看護師がメッセージを記入し、12日～14日の間に患者さんへ手渡しました。患者さんからは「ありがとう」「メッセージをもらったのは久しぶりで嬉しい」等の言葉があり、喜んでいただきました。不安やストレスを抱えている入院・治療生活の中で、少しでも明るい気持ちになって頂けたのではないのでしょうか。患者さんからの感謝の言葉を聞くことで、私達も励みとなりました。

また、来年度も皆様へ看護の心が届くようなイベントを行っていききたいと思います。



8 階病棟 看護師長
安食 裕子



認知症看護認定看護師に認定されました



8階病棟 看護師
吉田 由香

認定看護師って？

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格。患者さんやご家族によりよい看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めています。

2023年4月から2024年2月までの11か月間、認知症看護認定看護師教育課程を受講しました。特定行為研修を含んだB課程を受講し、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」の2区分を修了しました。そして2024年10月に行われた認定看護師審査に無事合格し、2024年11月27日に認定看護師として認定されました。

私が認知症看護に興味をもったきっかけは、認知症の患者さんが入院による環境の変化に馴染めないために、様々な症状が出て困っておられることがあったからです。認知症の患者さんは、環境の変化による影響を受けやすいことに加えて、身体的にも精神的な症状を言葉で表現することが困難であるために、混乱したり不安な思いを抱えやすい傾向にあります。認知症の症状が原因で、入院生活が困難となったり、治療が思う様に進まないこともあります。認知症の患者さんに、安心して入院生活を送ってもらうことができる看護の実践を目指しています。

活動内容は、各病棟の認知症リンクナースと協力してせん妄や不安・混乱などが生じた患者さんへの看護についての理解を深め実践することです。病棟ラウンドを行い、認知症の方の視点に立った内容で看護計画の立案と実践ができるように、病棟看護師とカンファレンスを行います。そして認知症看護についての研修会を開催し、理解を深めていきたいと考えています。

今後は認知症看護認定看護師として経験を積み、病院スタッフと協働し、患者さんにご家族の皆さんに、少しでも安心して入院いただけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



とりりんりんが使えます！

待ち時間が自由に使える♪



1 「とりりんりん」について

「とりりんりん」は、鳥取大学医学部附属病院や博愛病院などで導入されている、医療・地域・行政情報を一体化したスマートフォン向けのヘルスケアアプリです。本アプリには、以下のような通院支援機能があります。

①診療受付機能

病院に到着後、再来受付機を使用せず、スマートフォンから受付が可能です。

②診察呼出通知機能

診察の順番が近づくと、スマートフォンに通知と呼出音でお知らせが届きます。

③事前予約通知・問診機能

診察前日にリマインド通知が届き、問診票の入力もスマートフォンから行えます。

④後払い会計機能

会計を後からアプリ上で済ませることができ、待ち時間の短縮につながります。

当院では設備の都合上、現在導入している機能は「②診察呼出通知機能と③事前予約通知機能」のみですが、「とりりんりん」では、健康イベントや地域医療機関の案内、生活支援情報のほか、防災・防犯情報、ごみ収集日、子育て支援など、医療や暮らしに役立つ地域・行政情報を配信していますので、通院以外でもご利用いただけます。

2 注意点について

「とりりんりん」をご利用いただく際には、以下の点にご注意ください。

スマートフォンの位置情報サービス(高精度)およびBluetoothをONにしておく必要があります。また、アプリはバックグラウンドで起動しておく必要があります。その他にも注意点がございますので、登録時には係員までお気軽にお尋ねください。

3 最後に

現在、当院の1階受付前にて、係員が「とりりんりん」アプリの登録サポートを行っております。この機会に、ぜひ「とりりんりん」の登録をご検討ください。



栄養管理室の掲示板



管理栄養士 川上 穂南

☆豚しゃぶの梅ゴーヤのせ



【栄養成分(1人分当たり)】	
エネルギー	248kcal
たんぱく質	16.0g
脂質	15.0g
炭水化物	0.5g
ビタミンC	77mg
塩分	2.6g

◇夏を乗り切るさっぱりごはん

暑い夏、水分豊富な夏野菜が食べたくになりますね。ナス、キュウリ、トマト、ピーマン、ズッキーニ、そして『ゴーヤ』。ゴーヤはビタミンCが豊富で、ゴーヤ半分に含まれるビタミンCは1日に推奨する量のなんと約2/3。疲れやすい夏に心強い野菜です。沖縄のイメージが強い野菜ですが、比較的育てやすいので、ご自分で育てたり、ご近所さんからおすそわけいただいたりと、意外と身近な野菜ではないでしょうか。しかし、料理のレパートリーが少なく、何を作ろうかと迷っているうちにゴーヤの色が変わって、中に赤い種が…なんて経験はありませんか。(ちなみに赤くなってしまったゴーヤの種は冷やして食べると甘くて美味しいですよ。)

今回はゴーヤをたっぷりを使い、ゴーヤの苦さと梅干しの酸っぱさが体に染み渡るレシピをご紹介します。夏バテ気味でも箸が止まらない一品をぜひ味わってみてください。

レシピ提供:鳥取短期大学実習生

【材料(1人分)】

ゴーヤ…………… 1/2本(約100g)
 豚ロース薄切り …… 80g
 梅干し(しそ漬けやかつお梅など) …… 3個(果肉約20g)
 かつお削りぶし …… 1g
 めんつゆ(ストレート) …… 大さじ2
 塩(ゴーヤ用) …… 少々
 塩(豚しゃぶ用) …… 少々
 酒(豚しゃぶ用) …… 少々

【作り方】

- ①ゴーヤは半分に切ってワタを取り除いて薄切りに、梅干しは種を取り除いて粗めに刻んでおきます。(苦みが苦手な方はゴーヤを板ずりしてから切ると、苦みが緩和します)
- ②沸騰したお湯に塩を加え、①のゴーヤを入れて3分ほど茹でます。
- ③茹でたゴーヤを冷水で冷まし、①の梅干しとかつお削りぶし、めんつゆを加えて和え、冷蔵庫で冷やして味を馴染ませます。
- ④再度、鍋にお湯を沸かし、塩と酒を加えたら、豚肉を入れて色が変わるまで茹でます。
- ⑤茹でた豚肉を冷ましたら皿に盛り付け、③を上からのせて完成です。

Point !

④～⑤まで作り、副菜として！

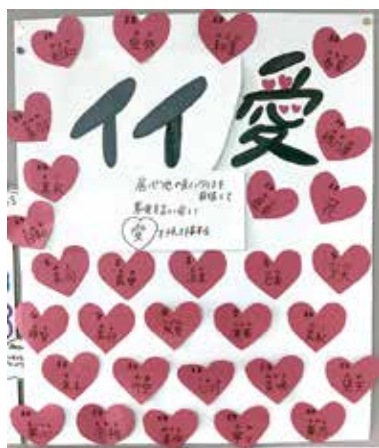


～新学年になってからの意気込み～

2年生 担当教員 石原 聡子
小田川 良子
田中 清美

～令和7年度 2年生(58回生)の目標は
「イイ愛」!～

58回生は、昨年の自分たちの行動を振り返り、真面目に学習に取り組めていなかったこと、思っていることをお互いに言い合えていない等の意見がでました。それを踏まえ、2年次の目標は、【イイ愛】居心地の良いクラスを目指し、お互いに意見を言い合い愛を持って他者に接することができると決まりました。クラス全員が学びやすく、過ごしやすい環境を整えるためにすべきことは何かを話し合いました。お互いに注意し合い、自分の思いを言語化し相手を想って伝えることが必要だと考え、成人学習者としてとるべき行動を見える化しました。この目標を1年間忘れないように教室に掲げています。学生の学びが豊かになるようこの1年学生支援をしていきたいと考えています。



授業時間以外でテスト勉強する
生活リズムを整える
注意し合える関係の構築
自分に必要な
睡眠時間の確保
寝ている人がいたら起こす
授業に関するもののサ
机の上に出す
始業・終業の挨拶をきちんと
トイレに行くときには声をかけ
離席する
私語をしない

看護学校 3年生(57回生)一同!!

～令和7年度 3年生(57回生)のテーマは
「希愛(きあい)」!～



このテーマの「希」には、自己の看護への目標を持つ、「愛」には、教育理念にある『人間愛に根差した看護』を目指すという意味を込めています。そして、「気合」にかけて学業に励むという意味も込めています。

これからの1年間、講義・臨地実習、就職・進学に向けての準備、看護研究演習、看護師国家試験対策など、多重課題となりますが、一致団結して乗り越えていきたいと思っています。

～令和7年度 3年生(57回生)の個人目標～

(一部掲載)

○学習について

- ・第115回看護師国家試験合格!!
- ・実習で現場での実践力を上げ、看護師になる前の基礎固めをする

○就職・進学について

- ・第1志望の病院の内定
- ・第1志望の学校に合格し進学する
- ・自分が最大限発揮できる病院を見つける!

○社会人基礎力について

- ・柔軟性・傾聴力の向上
- ・確報連相を完璧にする!!
- ・正しい言葉遣いと礼儀を身につける
- ・時間管理や計画性を持って行動する
- ・自己管理能力を高める



親睦会を終えて



2年生(58回生)
親睦会実行委員リーダー
川見 叶空



看護学校では、例年は1年生の歓迎会を開催しています。今年度は、1年生の入学がないため、2・3年生で親睦会を行いました。鳥取県米子市産業体育館の広いコートで、学年対抗バレーボール大会や学年混合ドッジボール大会を行い、自然と声をかけ合うことで交流が深まりました。企画・運営は2年生が中心に行いました。そして、チーム編成や予算内での景品の選択など企画立案の大変さを実

感しました。運営するにあたり、企画の変更や学生への周知などを3年生の方がてきぱきとされており、偉大さを改めて感じました。そのような3年生は、これから長い実習が続きますが、この日だけは心から楽しんでいただけたと感じています。親睦会は、2・3年生で助け合いながら無事に終えることができ、今後も密に協力し合い、学校生活を送っていききたいと思います。



バレー



準備体操もしっかりと!



対戦表



そぉ〜れ!



さあこいっ



どっちもがんばれ!



全校集合



実行委員集合



米子医療センターガジン

あーかす

#49

アーカス

July 2025

平成26年1月10日／初刊発行
発行：米子医療センター 〒683-0006 鳥取県米子市車尾4丁目17番1号

令和7年7月14日／発行

デザイン・印刷／合同印刷株式会社

保存版

外来診療担当表

令和7年7月1日現在

切り取ってお使いいただけます

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
総合内科		交替医	交替医	角田 宏明	交替医	交替医	
呼吸器内科		鰐岡 直人	池内 智行	唐下 泰一	池内 智行	唐下 泰一	
		山本 光紘		池内 智行	山本 光紘		
						鳥大医師	
	専門 外来		鳥大医師[肺がん外来]				
消化器内科		香田 正晴	原田 賢一	松岡 宏至	香田 正晴	松岡 宏至	
		平井実佳子	角田 宏明	大山 賢治		原田 賢一	
血液 腫瘍内科			足立 康二	前垣 雅哉		前垣 雅哉	
		梅田 未来	前垣 雅哉	但馬 史人 [第2・第4] 梅田 未来 [第1・第3・第5]		河村 浩二	完全予約制
	専門 外来			フォローアップ			[診療時間] 13時～14時(予約制)
循環器内科			福木 昌治	福木 昌治	中村研介[第3]	福木 昌治	
	専門 外来	福木 昌治					[診療時間](月曜日): ペースメーカー外来 13時30分～予約制
糖尿病・ 代謝内科		角 啓佑	石井有李子	角 啓佑	石井有李子	門脇佳名子 [第1・第3・第5]	初診は紹介のみ
緩和ケア内科		八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	※新患は要予約
腎臓内科			鳥大医師	山本真理絵	山本真理絵	山本真理絵	初診は水曜日、金曜日 再診は木曜日
神経内科						守安正太郎	初診は紹介のみ
健診		須田多香子	須田多香子	須田多香子	須田多香子	鰐岡 直人	事前予約のみ ※乳がん・子宮がん検診を除く
小児科	午前	矢倉 響	佐々木佳裕	上山 潤一	矢倉 響	佐々木佳裕	[診療時間] 8時30分～
	午後	佐々木佳裕	矢倉 響	交替医[急患のみ]	佐々木佳裕	上山 潤一	[診療時間] 15時～17時
	専門 外来		佐々木佳裕 [アレルギー]	交替医 [乳児健診] [予防接種]	検 査		[診療時間] 午後～ ※詳細な時間は お問い合わせください
消化器・ 一般外科		奈賀 卓司	藤田 真穂	菅澤 健	谷口健次郎	石黒 諒	
	専門 外来			ストーマ			第1,3週のみ 予約制 [診療時間] 13時～16時
胸部・ 乳腺外科		万木 洋平	万木 洋平	万木 洋平	交替医	万木 洋平	
			引野愛莉香			引野愛莉香	
	専門 外来	リンパ浮腫		リンパ浮腫		フットケア	予約制 ※リンパ浮腫は 月・水曜日の午前中のみ
整形外科		遠藤 宏治	遠藤 宏治	大槻 亮二	南崎 剛 [木曜日午前]	藤田 章啓	
		藤田 章啓	林原 雅子	川口 真平	大槻 亮二	林原 雅子	
			川口 真平				
	専門 外来	遠藤 宏治	遠藤 宏治		南崎 剛 [木曜日午前]		骨軟部腫瘍
	専門 外来		林原 雅子		大槻 亮二	林原 雅子	火曜:関節リウマチ外来 木曜:関節外科外来 金曜:手の外科外来
泌尿器科		磯山 忠広			磯山 忠広	磯山 忠広	
		清水 成	田村 丈	小山 優里	清水 成	清水 成	
放射線科		杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	
	専門 外来		吉田 賢史				放射線治療(完全予約制)
歯科口腔外科			川崎 誠	川崎 誠	川崎 誠	交替医[予約のみ]	※金曜日は要相談
耳鼻咽喉科		交替医	山本 祐子		交替医		
眼 科			三宅 敦子		三宅 敦子		
婦人科		交替医				交替医	7月～12月のみ月・金

時間 (診療受付) 8時30分～11時 (健康診断受付) 毎週火・水・金 / 予約制



国立病院機構 米子医療センター

〒683-0006 鳥取県米子市車尾4丁目17番1号
TEL.0859-33-7111(代) FAX.0859-34-1580(代)

診療情報提供書・FAXによる紹介状の送付先

地域医療連携室

直通FAX: 0859-37-3931
直通TEL: 0859-37-3930